

# 通信小海

## 愛の人、二代

牧師 水草修治

十数年前の六月、筆者は知り合いの牧師たちと韓国旅行に出かけた。当時、韓国はクリスチヤン人口が二十パーセントを超え、教会が盛んだといつて、牧師たちの韓国研修が盛んだったのだが、私たちの訪韓の目的はやや異なっていた。韓国の教会のようすを見せていただくとともに、かつて日本が韓国とその教会に残した爪痕をしっかりと見て、韓国の教会の人々にお詫びをすることが、もう一つの大事な目的だった。この旅に同行してくださったのが、朴永基(パク・ヨンギ)師だった。

一九五八年生まれの朴永基師は筆者と同じ歳であり、師の夫人が私の家内の友人であるこ

「今月のみことば」  
「愛がなければ、なんの役にも立ちません。」第一コリント十三:三

とも手伝って、たいへん親しくさせていた。いや親しくなったというよりも、筆者は朴永基師の真実な愛のあふれる人格に対して深い感動をおぼえたのである。朴師と一時間すこせば多くの人はみなそういう感動を覚えるよつである。

### \*尊敬する師

朴永基師は神学校卒業後、金海にあるハンセン氏病部落の金海徳村教会で六年間奉仕し、愛のたいせつさを深く悟ったという。なぜ初陣に誰もが望まないハンセン氏病の村を志したか。師が尊敬する孫良源牧師がハンセン病者の世話に生涯をささげた方だったからである。孫良源牧師は韓国で「愛の使徒」とか「愛の原子爆弾」とかいわれる人であり、本紙九十六号にも紹介したことがある。孫良源師は日本の帝国主義時代には迫害に耐え、朝鮮戦争の時には殉教されたが、師が尊敬さ

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治  
会堂・牧師館 長野県南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七  
〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六  
郵便振替 五三 六一六八三

## 見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上)

地図

## 集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時四五分

朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

水曜日 祈り会 午前十時半と午後七時半

\*海尻・川上でも毎月家庭集会あり。

\*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

れるのは、その堅固な殉教精神のゆえではなく、師からあふれてた愛のゆえなのである。

他の人々がハンセン病棟を訪れる際はマスクをし分厚い手袋をはめ、長靴をはいてはいるのに、孫牧師は重病患者を防備なく訪ね、血や膿の出る手をためらうことなく握り、長い問話をし、患部には人の唾が良い薬になるといって、口を当てて血と膿を吸うことさえした。はじめは患者の方がびっくりして、あとずさりしたというが、孫師からあふれるキリストの愛に触れて心開かれていった。孫師が残した詩を紹介しよう。

「主よ。私を用いて愛養園を心より愛する  
その愛をください

あなたが彼らを愛したその愛をください  
彼らはこの世から捨てられた人々であり  
親兄弟の愛から引き離された人々であり  
世のすべての人から避けられている  
人々なのです

おお、主よ。私が彼らを心から愛せるようにしてください。

おお、主よ。私は彼らを愛しますが  
私の親兄弟、妻や子どもよりも、もっと愛せるようにしてください

私の体が彼らと同じような状態になっても愛せるようにしてください  
もし彼らのようになれば、彼らとともに喜び、生涯をともに過ごしたいと思えます  
主が彼らを愛して御手を触れたように、彼らを心から愛せるようにしてください

#### \*愛のない自分

若い朴師は金海、徳村のハンセン病部落の教会に赴任して神の愛を伝え始めた。ところが、ある出来事を通して、朴師は自分の罪を知ることになる。雨が降ってひどくぬかるんだ道を失明したおばあさんの手を引いて歩いていくところ、そこを車が勢いよく泥水をはねて通り過ぎた。パシャッ！瞬間、朴師はよけてしまった。見るとおばあさんの真っ白なチマチヨゴリは泥まみれになっていた。・・・朴師はがくぜんとした。「自分は正しい愛のある人間だと思っていたけれど、実は自分には真実な愛などなかった。ほんとうに愛があったら、あの瞬間おば

あさんの前に出て自分が泥を浴びたろうに。でも自分はよけてしまった。」朴師はそういつ自分が人々に神の愛を説く資格などありませんと、神様の前にひれふして祈った。翌日、朴師は教会に来ている人々の前で前日の出来事、自分の愛のなさを告白して赦しを乞うた。すると、あのおばあさんが、「いや、先生は悪くないよ。車が悪かったんだよ。」とあつからかんと赦してくださいましたといっ。

#### \*主イエスの足あとを

「こんなことがあって、朴永基師は「愛する」とはどうすることなのか？」と主イエスに一生懸命に祈った。すると、主は「わたしが愛したように愛すればいいんだよ」と示された。そこで朴師は聖書の福音書に記されたイエス様の具体的な愛の行いの二つ二つを数十もリストアップして実践することにしたのである。朴師が読み取ったイエス様の愛の行ないは、たとえば次のようなことである。

イエス様は「あなたに「ミليون行き」と強いる者とはいつしよに「ミليون行きなさい」とおっしゃった。またイエス様は弟子たちと、あるいは助けを求めに来た人たちといっしよに歩かれた。そ

ここで、師は教会に訪ねてきた人がいたら、その日が雨であろうと雪であろうと日照りだろつと、どんなに遠かるつといっしょに歩いて家まで送っていくことにした。

主イエスはしばしば当時の社会で忌み嫌われていた者たちの家を訪ねて食事をいっしょにされた。そこで朴師は部落の人々の家を訪ねては、「なにかいっしょに食べましょう」と言つて食事をともにすることにした。健康な人がいっしょに食事などしてくれたことなど絶えて久しくなかつたので、患者たちは最初おどろいて「だめです」と言つていたのだが、だんだん心開かれいっしょに食事もできるよつになつていった。

朴師が聖書に発見した主イエスの愛の行ないはほかにもたくさんある。このよつにして数年がたつたとき、気づくと村人たちは残らず救われていた。朴永基師は愛のたいせつさを悟つた。

その後、一九八七年、朴永基師はかつて祖国を蹂躪した敵であつた日本人に神の愛を伝えるよつにとの神様の召しにこたえて来日された。一つ目の教会を東京足立

区に始め、ついで北海道新札幌に一つ目の教会開拓をして今日にいたつている。このたび迎えて講演会「幸福な家庭生活」をしていただくことになりました。みなさまお誘い合わせの上、どうぞご参加ください。きつと、暗闇は光に、失望は希望に、さばきは赦しに、憎しみは愛に変えられるでしょう。どうぞ、ご参加ください。

^講演会^

## 幸福な家庭生活

講師 朴永基先生

一九五八年韓国に生まれる。釜山高神大学院卒業後、金海ハンセン氏病部落の金海徳村教会で六年間奉仕し、愛のたいせつさを深く悟る。一九八七年来日、東京で教会の働きのかたわら大蔵省税関研修所で語学講師兼任。現在は新札幌市で教会と地域教育に活躍している。

著書『幸福な家庭』『教える喜びと学ぶ喜び』

講演1「家庭の絆を結ぶ」

十月十日(金) 午後七時半

から九時

\*無料です

講演2「親子の絆を学ぶ」

十月十二日(日)午前十時から

十二時

\* お昼に軽食があります。

\* 日曜定期集会のなかでのお話です。集会中、自由献金があります。

「こついつわけでいつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。愛を追い求めなさい。」

第一コリント書

# 福音指圧教室

急に冷え込んできましたね。みなさまお元  
気ですか。肩こり、腰痛、ひざの痛みなど、お  
たがいに押しあいこしてなおしましょう。ご夫  
婦・親子で見えれば、家でもできますから便  
利です。

教えてくださるのは、「指圧の心、母心」で  
有名な波越学園卒業の専門の指圧の先生で  
す。

日時十月二十六日(日)

午後二時から三時半

場所:教会堂

電話九二・四七七六

持ち物バスタオル、タオル、くつした

# 山谷にお米を

## 農業に就労の活路

自立を目指す東京都内の野宿生活者  
を対象に、資格取得などの就労支援を行  
っているNPO法人新宿ホームレス支援  
機構は、就労支援の一環として新たに農  
業研修を始めた。第一弾として、このほ  
ど、野宿生活者の男性二人を千曲市に派  
遣。二人は五日間、草取りなどを体験し  
た。都会で仕事が見つからない人たちに、  
農業に活路を見いだしてもらおうとの取  
り組みだ。

四十四歳男性は製造業の工場二十年以  
上勤めたがリストラされ、一年ほど前か  
ら路上生活者に。「農業はやりがいのある  
仕事ですね。ただ、身に付くまで相当の  
年数がかかると思う」と語った。(200  
3年09月30日付 信濃毎日新聞朝刊 家庭  
面より抜粋)

厳しい不況の嵐の中で、右のように、なん  
とか自立の道を歩み出したいともがいてい  
る路上生活の人々がいます。寒くなって来ま  
したし、山谷福祉会館の備蓄のお米も底をつ  
きつつあります。

秋の収穫に際して、お宅の倉庫の古米をあ  
ける必要がありますでしょうか。そのお米  
を畑にまいてしまうのではなく、寒くなつて  
くる路上で明日の糧に事欠いている人々の  
ために、いただけませんかでしょうか。左の連  
絡先に連絡をよろしくお願いします。

(連絡先)

お米と調味料(しょうゆ・塩・だしのもと)、  
毛布を必要としています。大根・ニンジンな  
ども助かります。

山谷農場事務局(藤田 寛)

電話090・1436・6334

〒370-0422・786・20088

[メール nyoro@beige.ocn.ne.jp](mailto:nyoro@beige.ocn.ne.jp)

カンパ 千振替 二四 四五三七九六

山谷農場